

医療の質・安全学会誌 第16巻 第1号

目次

【報告】

患者目線を目指したインフォームド・コンセント監査 5

インフォームド・コンセントの質を評価するために、監査項目を定めて説明同意文書の監査を行った。
患者の視点に近い監査を行うために、監査は事務職員が行っている。

鳥谷部 真一¹⁾ 平賀 智之¹⁾ 富樫 礼子¹⁾ 伊藤 圭子²⁾ 石川 卓²⁾

- 1) 新潟大学医歯学総合病院 医療安全管理部
2) 新潟大学医歯学総合病院 医療情報部

【報告】

がん薬物療法におけるレジメンチェックシステムを用いた確認事項の 均てん化に向けた薬剤師の取り組み 12

がん薬物療法に携わる薬剤師が抗がん薬等の内容を確認する際の確認事項を統一するためにシステムを構築し、確認事項について均てん化に向けた取り組みをまとめた。

桑 哲雄¹⁾ 野村 光永¹⁾ 安田 陽子¹⁾ 佐藤 淳也^{1,2)} 梅坪 翔太¹⁾
鴨志田 武¹⁾ 石川 寛¹⁾ 篠 道弘¹⁾

- 1) 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部
2) 国際医療福祉大学病院 薬剤部

【学術集会報告】

第14回 医療の質・安全学会 学術集会 シンポジウム 講演録 事例に学ぶ：医療機器取り違いによる患者死亡の経験から 医療機器誤接続防止（形状変更）への歩み 19

医療機器取り違いによる患者死亡を教訓事例として取り上げた。事故公表がきっかけとなり、学会、製造販売会社、行政が連携し、製品の規格変更といった再発防止に至った。

松村 由美

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

【学術集会報告】

第14回 医療の質・安全学会 学術集会 シンポジウム 講演録

「事例を共有する」から何が生まれるか？

～メモリアルデーの取組み～..... 28

遺族と病院とが事故を共有することから対話が始まり、メモリアルデーがつけられた。この後の対話の継続が、事故風化の防止の一助となっている。この取組みを報告する。

浦松 雅史

東京医科大学 医療の質・安全管理学分野／東京医科大学病院 医療安全管理室

【学術集会報告】

第15回 医療の質・安全学会 学術集会 パネルディスカッション 講演録

事故後の対話・情報開示のプロセスが医療者や遺族に与える正の影響..... 34

医療事故調査制度に基づいて事故後に対話・情報開示を行うことは、遺族と医療者側当事者の双方の回復につながる可能性がある。

松村 由美¹⁾ 豊田 郁子²⁾

1) 京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

2) イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院

【学術集会報告】

第15回 医療の質・安全学会 学術集会 シンポジウム 講演録

医療機器安全管理の現状と今後の課題..... 43

工学的医療技術が普及拡大している臨床現場において、医療機器安全管理体制の充実と医療機器安全管理責任者の役割は、医療の質の向上と安全確保のために益々に重要になる。

廣瀬 稔¹⁾ 加納 隆¹⁾ 新 秀直²⁾ 青木 郁香³⁾ 高倉 照彦⁴⁾

木内 淳子¹⁾

1) 滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科

2) 東京大学医学部附属病院 企画情報運営部

3) (公社)日本臨床工学技士会／(公財)医療機器センター

4) 亀田総合病院 医療技術部

【学会・研究会案内】

第16回 医療の質・安全学会 学術集会 51

【資料】

資料 1	医療事故調査制度の現況報告（2020年12月）	54
資料 2	医療事故情報収集等事業第63回報告書【抜粋】	56
資料 3	プライマリケアにおける患者・家族との協働による患者安全改善ガイド	67

一般社団法人 医療の質・安全学会	定款	99
一般社団法人 医療の質・安全学会	入会のご案内	105
「医療の質・安全学会誌」	投稿規程	108
「医療の質・安全学会誌」	執筆要項	118
「医療の質・安全学会誌」	定期購読のご案内	123

編集後記	125
------	-----